

平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月10日

上場会社名 株式会社A. Cホールディングス
 コード番号 1783 URL <http://www.ac-holdings.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 武司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役情報管理責任者 (氏名) 竹澤 清

TEL 03-5473-7722

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	1,472	12.9	△195	—	△398	—	△367	—
23年9月期第2四半期	1,304	—	△345	—	△227	—	219	—

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 △362百万円 (—%) 23年9月期第2四半期 185百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	△9.08	—
23年9月期第2四半期	5.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	8,779	7,640	87.0
23年9月期	9,141	8,002	87.5

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 7,640百万円 23年9月期 8,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	—	—	0.00	0.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,263	13.2	△206	—	△356	—	△369	—	△9.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	42,442,851 株	23年9月期	42,442,851 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	2,000,695 株	23年9月期	2,000,695 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	40,442,156 株	23年9月期2Q	40,442,156 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要素により異なる可能性があることをご承知おください。

業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、生産や輸出が回復する等、一時持ち直しの動きがみられましたが、東日本大震災の影響等により全体的には厳しい状況となりました。

こうした経済状況のもとで、当社グループは、ゴルフ・リゾート事業と建設事業における売上高の増加及び経費の削減により、営業損失は前年同四半期と比較して、1億50百万円減少しました。

経常損益に関しましては、持分法による投資損失を2億5百万円計上いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高14億72百万円（前年同四半期売上高13億4百万円）、営業損失1億95百万円（前年同四半期営業損失3億45百万円）、経常損失3億98百万円（前年同四半期経常損失2億27百万円）、四半期純損失3億67百万円（前年同四半期 四半期純利益2億19百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、以下の売上高にはセグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

①ゴルフ・リゾート事業

ゴルフ・リゾート事業におきましては、ゴルフ場収入は微減でありましたが、当期より新香木原カントリークラブの施設賃貸料収入が加わり、事業全体では売上高が増加となりました。この結果、売上高5億41百万円（前年同四半期売上高4億84百万円）、営業損失2億19百万円（前年同四半期営業損失3億円）となりました。

②ファイナンス事業

ファイナンス事業におきましては、貸金業の撤退及びリース業の見直し等により、売上高4百万円（前年同四半期売上高11百万円）、営業利益7百万円（前年同四半期営業損失23百万円）となりました。

③建設事業

建設事業におきましては、工事施工が順調に推移したことにより売上高が増加しましたが、一方原価率が増加しました。この結果、売上高8億93百万円（前年同四半期売上高7億70百万円）、営業利益0百万円（前年同四半期営業利益5百万円）となりました。

④リアルエステート事業

リアルエステート事業におきましては、公示地価やオフィス賃貸の低迷により厳しい状況を迎えております。その結果売上高34百万円（前年同四半期売上高41百万円）、営業利益14百万円（前年同四半期営業利益7百万円）となりました。

なお、前連結会計年度の9月をもってインベストメント事業から撤退しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億61百万円減少し、87億79百万円となりました。

流動資産は1億48百万円減少し37億69百万円、固定資産は2億13百万円減少し50億10百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が3億18百万円減少した一方、受取手形・完成工事未収入金等が60百万円増加したことによります。

固定資産の減少の内訳は、有形固定資産の増加4百万円、無形固定資産の増加4百万円、投資その他の資産の減少2億22百万円であります。このうち、投資その他の資産減少の主な要因は、持分法による投資損失等により関係会社株式が2億6百万円減少したことによります。

なお、破産更生債権等19億23百万円を、同額の貸倒引当金に充当することにより償却しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて微増し、11億39百万円となりました。

流動負債では仕入債務が42百万円増加し、固定負債では退職給付引当金が18百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3億62百万円減少し、76億40百万円となりました。純資産減少の主な要因は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少であります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億18百万円減少し、25億45百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により減少した資金は1億93百万円（前年同四半期は2億89百万円の減少）となりました。主な減少要因は、税金等調整前四半期純損失3億63百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は1億25百万円（前年同四半期は4億92百万円の増加）となりました。主な減少要因として貸付による支出2億円、一方主な増加要因としては貸付金の回収による収入1億16百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加又は減少はありませんでした（前年同四半期もありませんでした）。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想は、平成24年2月9日公表の数値から変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社でありました株式会社姫路相生カントリークラブは、平成23年10月1日に同じく連結子会社である株式会社A.Cインターナショナルに吸収合併されたため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。これにより連結子会社の数は4社となっております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,864,023	2,545,712
受取手形・完成工事未収入金等	419,728	480,504
商品	13,234	10,824
材料貯蔵品	14,074	11,998
販売用不動産	534,563	534,563
その他	98,948	211,767
貸倒引当金	△27,168	△26,299
流動資産合計	3,917,404	3,769,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	762,406	743,393
機械装置及び運搬具（純額）	45,224	40,853
工具、器具及び備品（純額）	11,901	13,869
土地	3,009,739	3,010,209
建設仮勘定	—	25,322
有形固定資産合計	3,829,271	3,833,648
無形固定資産		
その他	8,108	12,987
無形固定資産合計	8,108	12,987
投資その他の資産		
関係会社株式	1,048,919	842,581
長期貸付金	383,550	364,350
破産更生債権等	1,923,918	3
その他	566,686	140,891
貸倒引当金	△2,536,363	△183,698
投資その他の資産合計	1,386,710	1,164,127
固定資産合計	5,224,089	5,010,762
資産合計	9,141,494	8,779,835

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	302,920	345,132
未払法人税等	8,808	12,069
賞与引当金	4,186	2,772
ポイント引当金	21,012	19,221
その他	260,427	239,101
流動負債合計	597,354	618,296
固定負債		
退職給付引当金	204,090	185,740
役員退職慰労引当金	6,340	6,722
資産除去債務	1,988	2,000
その他	329,126	326,687
固定負債合計	541,546	521,150
負債合計	1,138,900	1,139,447
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	5,650,811	5,650,811
利益剰余金	△482,408	△849,708
自己株式	△604,076	△604,076
株主資本合計	8,064,325	7,697,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28,626	△22,747
土地再評価差額金	△6,153	—
為替換算調整勘定	△26,953	△33,891
その他の包括利益累計額合計	△61,732	△56,638
純資産合計	8,002,593	7,640,388
負債純資産合計	9,141,494	8,779,835

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	1,304,368	1,472,402
売上原価	763,289	892,552
売上総利益	541,078	579,849
販売費及び一般管理費	886,955	775,480
営業損失(△)	△345,876	△195,630
営業外収益		
受取利息	8,965	6,626
受取配当金	1,028	—
受取給付金	4,628	1,815
持分法による投資利益	88,940	—
投資不動産賃貸料	13,432	17,871
その他	23,045	18,276
営業外収益合計	140,041	44,589
営業外費用		
持分法による投資損失	—	205,571
投資不動産賃貸費用	18,568	29,444
その他	2,686	12,077
営業外費用合計	21,255	247,094
経常損失(△)	△227,090	△398,134
特別利益		
固定資産売却益	—	107
貸倒引当金戻入額	22,248	—
持分法過年度修正益	427,165	—
前期損益修正益	103	—
受取補償金	—	29,348
競売による配当益	—	4,951
その他	5,381	107
特別利益合計	454,898	34,515
特別損失		
投資有価証券売却損	1,583	—
固定資産除売却損	2	204
前期損益修正損	18	—
減損損失	613	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	385	—
特別損失合計	2,602	204
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	225,206	△363,823
法人税、住民税及び事業税	6,197	3,476
法人税等合計	6,197	3,476
四半期純利益又は四半期純損失(△)	219,008	△367,299

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	219,008	△367,299
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2,965	5,859
持分法適用会社に対する持分相当額	△36,226	△766
その他の包括利益合計	△33,260	5,093
四半期包括利益	185,747	△362,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,747	△362,205

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	225,206	△363,823
減価償却費	29,845	41,503
減損損失	613	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	18,749	107
その他の引当金の増減額(△は減少)	2,169	△23,652
受取利息及び受取配当金	△9,994	△6,626
持分法による投資損益(△は益)	△88,940	205,571
固定資産売却損益(△は益)	—	△107
有形固定資産除却損	—	204
投資有価証券売却損益(△は益)	1,583	—
持分法過年度修正損益(△は益)	△427,165	—
競売による配当益	—	△4,951
受取補償金	—	△29,348
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	385	—
リース投資資産の増減額(△は増加)	12,188	5,134
売上債権の増減額(△は増加)	16,364	△60,776
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△33,597	—
その他たな卸資産の増減額(△は増加)	10,588	4,485
未収入金の増減額(△は増加)	△4,417	37,428
営業貸付金の増減額(△は増加)	3,150	—
仕入債務の増減額(△は減少)	36,008	42,211
未成工事受入金の増減額(△は減少)	12,992	5,216
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,516	8,166
その他	△109,225	△32,649
小計	△292,978	△171,906
利息及び配当金の受取額	9,994	6,626
補償金受取額	—	29,348
利息返還額	—	△50,524
法人税等の支払額	△6,953	△6,639
営業活動によるキャッシュ・フロー	△289,938	△193,095
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,255	△38,013
有形固定資産の売却による収入	—	325
投資有価証券の売却による収入	13,736	—
無形固定資産の取得による支出	△1,980	△6,231
貸付けによる支出	△230,000	△200,000
貸付金の回収による収入	151,700	116,310
仮差押解除による収入	567,892	—
その他	2,678	2,394
投資活動によるキャッシュ・フロー	492,773	△125,215
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	202,834	△318,311
現金及び現金同等物の期首残高	2,706,198	2,864,023
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,909,032	2,545,712

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 2
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	ファイナン ス事業 (千円)	インベスト メント事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエス テート事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	484,004	8,615	—	770,269	41,478	1,304,368	—	1,304,368
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	2,751	—	—	—	2,751	△2,751	—
計	484,004	11,366	—	770,269	41,478	1,307,119	△2,751	1,304,368
セグメント利益又は 損失(△)	△300,611	△23,675	△29,449	5,926	7,063	△340,745	△5,130	△345,876

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 2
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	ファイナン ス事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエス テート事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	541,559	2,822	893,101	34,918	1,472,402	—	1,472,402
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1,813	—	—	1,813	△1,813	—
計	541,559	4,636	893,101	34,918	1,474,215	△1,813	1,472,402
セグメント利益又は 損失(△)	△219,108	7,433	790	14,824	△196,060	429	△195,630

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度の9月をもって、インベストメント事業から撤退しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (7) 重要な後発事象
該当事項はありません。